



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Shozo Tsuzuki 4-18, Kurekawa-cho, Ashiya, Hyogo
 Mail : syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp Phone : 0797-31-1447 659-0051, JAPAN
 URL : <http://www.kobeymca.org/ys/ashiya/>

主 題

- 国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Finn A Pederseon "To dare is to do"
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"
 西日本区理事 「ワイズ'の原点 愛と奉仕で社会に貢献」
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community
 through Active Service with Love"
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」
 森 紘一
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」
 都筑 省三 "You are like salt for all mankind"

- 会 長 都筑省三
 直前会長 桑野友子
 副 会 長 堤 清 島田 恒
 書 記 堀江哲次 柏原佳子
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 上野恭男 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

10

Oct. 2011
 第 173 号

今月の聖句

イエスは言葉で悪霊を追い出し、病人を皆いやされた。それは預言者イザヤを通して言われたことが実現するためであった。「彼はわたしたちの患いを負い、わたしたちの病を担った。」

マタイ福音書 8:16 - 17

BF・ファンド事業

飯田 義雄

私がファンドと言えば皆様は直ぐに「ジャガイモファンド」が「馬路村のポンズ」を想像されるかと思います。これはいわゆるクラブファンドです。ご承知かと思いますがBF(Brotherhood Fund)をあらためてワイズ用語で調べると国際役員やBF代表が公式行事に参加する旅費などの資金源として全ワイズの参加によって集められる資金と書かれ各クラブにとって唯一義務的なものです。現金だけでなく使用済み切手、書き損じハガキの換金も含まれます。過日メールで送られてきました将来を担う有為なワイズメンを世界に送り出そうの呼びかけにも使われます。他にEF(Endowment Fund)ワイズ発展のため、会員やクラブからの寄贈・遺贈・献金があります。あと西日本ワイズ基金JWF(Japan West Fund)があります。

「命は有限であるが組織は無限である」といわれるように組織を維持するための困難さは言語に絶するものがあります。跡継ぎの問題です。このようなファンドを活用し若い人を国際舞台に送り出したいものです。

個々のクラブや会員には直接関係ない感じがしますが我々ワイズメンは国際メンバーの一員です。国際舞台に活動の場があることを実感しワイズの心が大きく繋がりたいものです。

10月第1メネット例会プログラム

と き： 2011年10月19日(水) 19:00～21:00

と ころ： ホテル竹園 3階

司 会： 島田 恒メン

受 付： 羽太英樹メン・桑野友子ウイメン

1. 開会点鐘 都筑省三会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖句朗読 羽太英樹メン
4. ゲスト・ビジター紹介 島田 恒メン
5. 食前感謝 加輪上敏彦メン
6. 食事・歓談 一同
7. ゲスト・スピーチ 佐治 文隆 様
(芦屋市民病院事業管理者)
8. ゲスト・ビジターご挨拶
9. 議事報告
第2例会議事録承認 都筑省三会長
連絡事項 チャリティ・ラン、研修会・例会など
10. YMCA ニュース 藤田良祐連絡主事
11. 誕生祝い 都筑省三会長
12. ニコニコ献金報告 福原吉孝ファンド委員
13. 閉会点鐘 都筑省三会長

9月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー	14名	出席者 14名	0gm (28gm)
ビジター	12名	メイキャップ 0名	
ゲスト	2名	合 計 14名	
メネット	6名	在籍者 17名	ニコニコ (累計)
合 計	34名	(内広義会員1名)	36,221円 (58,671円)
		出席率 87.5%	(注)

(注)ニコニコ献金の一部と芦屋クラブからの分をあわせてYMCA東日本大震災ボランティアのために六甲部メネットアワーで献金をしました。

9月第1例会報告

日時：9月21日(水)19時～21時

場所：ホテル竹園芦屋

司会：福原吉孝 (敬称略)

出席者：飯田メン・メネット、井上メン・メネット、大澤メネット、上野、柏原、加輪上メン・メネット、桑野、島田、都筑、羽太、福原メン・メネット、堀江、藤田連絡主事(芦屋クラブ)、高井和代ゲスト・スピーカー、吉岡浩一(前メンバー)、鈴木誠也、橋本和子、京極美栄子、森愛子、佃治子(神戸クラブ)、小野勅紘、濱美恵子、廣瀬敦子(西宮クラブ)多胡葉子、福田素子(宝塚クラブ)森弘子(学園都市クラブ)(計34名)

「シター」の奏でる美しいメロディと歌声の夕べ

9月はメネット例会として大勢のメネットが参加し賑やかな雰囲気で開催された。飯田メネット会長の開会点鐘で開始となり、クラブソング斉唱、聖句朗読に続き、食前感謝は、加輪上メネットより行われ会食、歓談となった。

参加者は芦屋クラブのメネットに加え他クラブから多数の参加を頂きメネット14名で、総勢34名で開催の運びとなった。大勢のメネット参加に大変感謝の気持ちでいっぱいである。食事をしながらの歓談も、いつにも益して賑やかで明るい笑い声が各テーブルに溢れ、大変気持ちの良いつろいだ例会となった。

続いて柏原ウィメンよりゲスト、ビジターの紹介があり、鈴木西日本区行政監事より、ご挨拶があったが、その中に福島原発事故に対するボランティア活動状況報告とこれからの募集



について説明があった。我々の知りえないマスコミで報道されていない福島県内事情が生々しく説明された。大変厳しい状況は変わっておらず、働ける人材が必要であることが判った。何か応援できることがあれば、芦屋クラブとしても協力したいという感想である。また、ゲストに前メンバーである吉岡様が参加して頂いたのは大変嬉しい出来事であった。

さて、今回のメインゲストとしてお招きした高井和代様であるが、神戸女学院音楽科卒、コーラスボイストレーナーであり現在は「シター」演奏家として活躍中の方である。

その「シター」であるが、この楽器を見たのは、初めてという方がほとんどであると推察する。その演奏によりどのような音を奏でるのか興味津々といった所であったと思う。

「シター」が奏でるメロディは、それは、それは、シンプルでありながらも優しく美しい音色であった。

会場の皆様も、「シター」演奏に魅了され落ち着いて静かに鑑賞されていたのが印象深い。また高井様が「シター」の音色に

合わせ素晴らしいプロの歌声をご披露頂き、なお一層良い雰囲気で行進した。最後には高井様のご指導の下、全員で「シター」演奏に合わせ歌えたのは幸せな気分となり大変意義深い心地良い時間となった。会次第に従って「みどり作業所支援金贈呈」が都筑会長より大沢メネットに贈呈式を行った。芦屋クラブの地域活動の中で大変大事な支援活動であり、今後も折に触れ応援していきたい。引き続き第二例会議録承認、報告事項、誕生祝、YMCAニュース報告があり、飯田メネット会長より、閉会点鐘となり無事終了となった。



飯田会長を初めとして準備に奔走されたウィメン、メネットの方々本当にご苦勞様でした。心地よい興味深いメネット会を有難うございました。

福原吉孝

メネット例会に参加されたメネットさんの感想です

柏原様はじめ皆様のご協力が無事メネット例会が終わり感謝いたしております。普段聞くことのないシター演奏も楽しく、他クラブから多くのメネットが参加いただき例会に花を添えていただきました。当初からメネット同伴で例会に出席したクラブもあるとのことですが、翻って現在は社会状況も意識もかわり、女性会員や経営者もふえているとのことですので、メネットの立場、存在をどのように考えるべきかとおもいましたが、今回集まったメネット皆で次回も楽しい集まりを持ちたく思います。

飯田ふみ子

久しぶりにメネット例会に参加させていただき、おいしいお食事と前会長のお計らいによるたっぷりのデザートをかきながら、珍しいシターの演奏に幸せなひとときを過ごさせていただきました。又、懐かしいゲストの方々とお目にかかれ、お話をする機会を得て、ワイズの例会に、又、参加したくなりました。これからもイベントのときだけで申し訳ないのですが、参加させていただきますので、よろしく願います。

田舎利子

メインゲストの高井さんのシターと美しい歌声に、心癒される思いでした。できれば、あと2曲位、賛美歌を聞きたかったです。

井上純子

メインゲストの高井和代様の珍しい楽器、シターの演奏を真横から聞かせていただき美しい音色を楽しませていただきました。

加輪上史子

初めて目にした楽器の音色と解りやすい歌を真近で聞かせていただきとても楽しかったです。主人の司会も皆さまのお役に立っているのかどうか？ 楽しそうにしているのがよかったです。

福原美鈴

神戸 YMCA125 周年記念講演会・シンポジウム

9月10日(土)日本キリスト教団神戸教会において、125周年の記念プログラムとして準備された講演会とシンポジウムが200名近い聴衆を集めて開催されました。

講演は前東京女子大学学長の湊晶子さんで、神戸のご出身、須磨教会に所属しておられました。講演テーマは「真の国際人とは～私を生きる、共に生きる～」で、新渡戸稲造(東京女子大初代学長)をモデルに自己を生き切ること、賀川豊彦(神戸出身の牧師・多方面での社会事業者)をモデルに他者と共に生きることの意味を話されました。

自分の信念としてのタテ軸と、現実の生活現場としてのヨコ軸をしっかりと位置づけて生きることの大切さをあらためて感じる講演でした。



また、続いてのシンポジウムは、広島女学院大学学長であり宝塚ワイズメンクラブのメンバーでもある長尾ひろみさんと、元神戸 YMCA 主事であり現在、キリスト教海外医療協力会(JOCS)総主事である大江浩さん、そして湊晶子さんを加えたシンポジウムで、中尾秀一さん(国際委員・難民事業本部)の司会で進められました。シンポジストの皆さんのそれぞれの現場から、幅広い領域に渡り発表が行われ意見が交わされました。異なる現場からの引き込まれるような発言を通して、私たちに不可欠なものを考えさせられました。水野総主事の挨拶で記念講演会は幕を閉じました。

真の国際人を問いながら、平和を実現するために、如何に自己を確立し、主体的に生き切ることが問われた意義深いシンポジウムであったと思います。

芦屋クラブからは、都筑会長以下、飯田・上野・柏原・加輪上・桑野・羽太・島田各メンが参加しました。

島田 恒

六甲部主催 チャリーティー・ローンボウルズ大会に参加して

不覚にも「ローンボウルズ」というスポーツがあることも知らなかった私であるが、なにか面白そうだと興味もあって参加した。解説書によると「ローンボウルズは年齢・障害の有無に関係なく一緒に同じルールで競い合う事ができる。他のスポーツには類のない『生涯スポーツ』に相応しいスポーツです。」とある。芝生を張りつめた約40m四方のプレーグラウンドにいくつかのレーンが設けられ、各レーンの端に置かれたジャックと呼ばれる標的にボウルを投げ、近づけて点数を競い合うとい



う競技だ。しかしこのボウル(1.5kg)は真ん丸ではなく、左右が歪に作ってあるから標的の手前で曲がる曲者だ。



9月24日(土)神戸「しあわせの村」に神戸西、神戸学園都市、神戸、神戸ポート、芦屋、西宮、宝塚の7クラブが集結した。芦屋からは二組(飯田、柏原、桑野チーム & 羽太、堀江、都筑チーム)参加した。森 紘一六甲部長の肝いりで企画された第一回の大会が秋晴れの爽やかな西六甲の丘陵地帯の立派なローンボウルズ競技場で始まった。



経験のない者も多いので、このスポーツにはまったリーダーの方々の指導で練習からスタート...

各チームは相手3チームとの対戦となり、最後に決勝プレーオフがあるので計4試合となる。その上、各試合は6回投げるので60歳代最後の私にとっては結構疲れを覚えた。でも気持ち良い疲れでもあった。このスポーツはやはり「集中力が肝心で技術が伴うなぁ」と思った。でも「運」も大きなウェイトを占めているので面白いのだろう。



成績結果は神戸学園都市クラブが優勝、我が芦屋クラブは第一チームが「ラッキー・セブン」賞をいただいた。ラッキー! 「運」だね! 尚、プレーヤー参加費は全額を神戸YMCA国際協力募金に捧げられたとの報告があった。

羽太英樹

10月第1例会ゲストスピーカー紹介

佐治 文隆 様
大阪大学医学部卒

平成13年4月 大阪府立成人病センター診療局長
平成15年9月 国立病院呉医療センター院長
平成21年4月 芦屋病院事業管理者
西宮市に生まれ、奥様のご実家は芦屋市とのことで
阪神間・芦屋市にゆかりのある方です。



9月第2例会・議事録(抄)

日時:9月28日(水) 19:00~21:00

場所:芦屋市民センター205号室

出席者:飯田、井上、上野、柏原、桑野、都筑、羽太、福原、藤田、堀江、(10名)

< 報告・協議・確認事項 >

1) 第1例会プログラム

10月19日(水) ゲストスピーカー:佐治文隆様
(芦屋市民病院事業管理者)。

2) 10月以降の予定 (クラブ例会以外)

10月19日(水)チャリティ・ゴルフ オリムピックゴルフクラブ。
11月3日(木・祝日) チャリティ・ラン 神戸しあわせの村
みどり作業所送迎の車2台(井上、都筑車)、チヂミ用鉄
板の準備と運搬(飯田車:藤田、上野メン支援)が決定。

3) 8月度会計報告

羽太会計より報告あり、承認。

4) 芦屋クラブファンド

じゃがいもファンドは10月21日着(西宮クラブ)予定。

5) その他

11月16日(水) クラブ研修会 15:00~ ブルーミンモード
研修内容は各会長経験者のレクチュア、EMC、ワイズの
歌などの歌唱指導、YMCAボランティア(東日本大震災)
の経験談、芦屋クラブホームページ など、詳細は別途。

11月16日(水) 第1例会 19:00~ ブルーミンモード
9月メネット例会のニコニコ献金は、その約半分をYMCA東
日本大震災ボランティア用として合同メネット例会で献金
(¥12,000-)し、別に芦屋クラブから YMCA東日本大震

災ボランティア用支援金(¥15,000-)として献金する。
芦屋クラブ独自のホームページを開設するかどうか別途検
討する。

西日本区制作のキャップは¥1,000-/1ヶであり クラブに
依頼があれば引き受ける。

堀江哲次

YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

125周年記念講演会、シンポジウム開催

9月10日(土)神戸教会にて、181名の聴衆を集めて
開催。125周年関連イベントは来年1月7日に開催予定
の「音楽と祈り」のプログラムを残すだけ。

「それぞれの日本 YMCA 運動史」Part 出版

「育てる、祈る、分かち合う YMCA 運動」というサブテーマ
で今井鎮雄顧問と坂口順治氏(東京 YMCA 名誉会員)
との対談、YMCA について過去と未来が語られています。
ご希望の方は、本部事務局に在庫。(一冊 500円)

神戸YMCAの今後の予定

恒例のチャリティーランが125周年記念として開催。

日程:11月3日(祝・木)

場所:しあわせの村

第27回午餐会

講師:奈良 昭彦さん

YMCA・ワイズメン、建築家。2001年から2年間をブ
タンで、2005年から2年間をセントルシアで JICA のシ
ニアボランティアとして活動。現在は淡路島に居を移され、
大阪女学院大学でも教鞭。

日時:11月26日(土)正午~午後2:00

場所:神戸 YMCA 4F サイコー亭
ユースプラザ KOBE EAST ミニコンサート

日時:11月26日(土)15:00~15:30

場所:ユースプラザ KOBE・EAST フリースペース

出演:神戸大学附属住吉中学校コーラス部

編集後記:

9月24日には第1回六甲部チャリティ・ローンボールズ
大会が行われ、朝早くからの一日をみなさまと楽しみま
した。後で少々思いがけないところに、身体の痛みを感
じられた方もおられました。……そのおかげでしょうか、
「ラッキー・セブン」賞を獲得されたメンバーのみなさま、
おめでとうございます。健康を与えられ、秋晴れの下で
スポーツを楽しむことができたことに感謝です。

堀江哲次